

なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2022 年日本平和大会 in 東京 成功めざすよびかけ

2022 年 7 月 14 日 第 2 回実行委員会

7 月 10 日投票の参議院選挙の結果、憲法改悪・日米軍事同盟強化をめざす岸田政権与党が参院の過半数を占め、日本維新の会が倍増し、改憲勢力が衆参で 3 分の 2 を超す状況が生まれました。しかし、これは国民が改憲や軍拡を政権に白紙委任したものではありません。選挙の出口調査でも改憲を優先すべきとした人はわずか 4.7% (時事通信)。優先すべき税金の使い道は「暮らし対策」が 69.7%、「防衛費増額」は 21.3%です (東京新聞・都民意識調査)。一方、沖縄では、大激戦の末、辺野古新米軍基地建設反対を貫く「オール沖縄」の伊波洋一さんが勝利し、9 月の県知事選挙での玉城デニー知事勝利に向けた、重要な足がかりとなりました。

選挙結果を受け、岸田政権と維新の会などは、憲法改悪や「敵基地攻撃」大軍拡、辺野古新基地建設などを、強力におしすすめようとしています。特に、年末に向けて国家安全保障戦略などを改定し、「敵基地攻撃能力」保有を国家方針にし、5 年以内の軍事費倍増に向けた大軍拡計画を具体化しようとしています。これは、戦後、憲法と平和を守る市民の運動を背景に、自民党政府も防衛政策の「建前」としてきた、「専守防衛」や「攻撃的兵器不保持」「海外派兵禁止」などの歯止めを取り払い、アメリカと共に他国を先制攻撃・全面攻撃する軍事大国への道を突き進もうとするものです。それは、周辺国との核軍拡競争を激化させ、日本を戦争に導く危険を高める道であり、国民に大增税と社会保障費などの大幅削減を強いる道です。

そして、こうした政策を何の制約もなく進め、集団的自衛権の全面的行使を可能にするために、憲法の明文改悪がねらわれています。岸田首相は、「できるだけ早く改憲発議を行う」と、前のめりの姿勢を示しています。いま、私たちは、広範な人々と力を合わせ、憲法改悪と憲法を根本から破壊する「戦争する国づくり」・大軍拡路線に反対する国民的大運動を巻き起こすことが求められています。

岸田政権はこれらを、ロシアによるウクライナ侵略を口実に推し進めています。しかし、ロシアの蛮行を止めさせるために求められているのは、「国連憲章守れ」の圧倒的な世論の結集であり、「核兵器使うな、なくせ」の世論の拡大であり、敵対的な軍事同盟の強化ではなく、対話と協力の包摂的な平和の枠組みの構築の努力です。それはすべて、憲法 9 条が求める方向そのものです。こうした声を、いまこそ大きく上げていくことが求められています。

私たちは、11 月 26-27 日、首都東京で、「いまこそ、ゆるがぬ平和を世界と日本に ロシアは侵略をただちにやめよ！ 国連憲章守れ！ 敵基地攻撃・大軍拡ノー！ 憲法 9 条守れ！ 軍事同盟強化でなく、東アジアに非核平和の流れ広げよう」を中心テーマに、「なくそう！ 日米軍事同盟・米軍基地 2022 年日本平和大会」を、オンラインを併用して開催します。大会は、首都東京の異常な軍事基地群の実態も見据えながら、海外代表も交え、平和と憲法を守る運動を交流し、日米軍事同盟をなくしてこそ憲法にもとづく真の平和を実現できることを学び、討論する大会です。

▶この大会に向けて、平和大会学習パンフも大活用し、学習・討論にとりくみ、憲法守れ、「敵基地攻撃」大軍拡反対、軍事同盟でなく憲法にもとづく平和外交を求める世論と運動を広げましょう。▶沖縄県知事選挙支援の輪を全国で広げ、「オール沖縄」の代表・玉城デニー知事再選を実現しましょう。▶青年はじめ、全国で平和大会やオンライン視聴会への参加の輪を大きく広げ、大会を節目に運動を大きく広げていきましょう。

2022 年日本平和大会の獲得目標

1、参議院選挙の結果、引き続き改憲・日米軍事同盟強化・大軍拡推進勢力が国会で多数を占めることとなった。今後は、特に年末にかけて新国家安保戦略・新防衛大綱・大軍拡計画が策定されようとしている。日本平和大会に向けて、こうした動きを跳ね返す草の根からの学習と運動を、平和大会学習パンフを大活用し、プレ企画で多様な関心にこたえる学習会を設け、広げていく。

大会は、危険な動きを告発するとともに、運動のさらなる発展方向を示す場とする。

また、危険な動きの発信源が日米軍事同盟であり、日米安保条約発効 70 年の年に、日米軍事同盟の本質と廃棄の展望も明らかにする。

2、ロシアの侵略を機に、国連無力論、軍事同盟必要論、核抑止力・軍事的抑止力必要論、9 条改憲論がふりまかれている。これらを批判し、軍事同盟強化ではなく、憲法にもとづく平和のビジョンへの確信を広げる場とする。紛争の平和的解決・平和秩序構築めざす ASEAN の役割から学び、アジアの平和をどう実現していくかの展望を明らかにする。

3、CV22 オスプレイ 10 機体制めざす横田基地（東京）、自衛隊オスプレイ 17 機体制をめざす木更津基地（千葉県）、オスプレイ整備拠点とされた木更津基地と厚木基地（神奈川県）等の実態はじめ、東京・首都圏の米軍・自衛隊基地の異常な実態を体感し、これに反対する市民との連帯を深める機会にする。

4、すべての県で広範な諸団体にも呼びかけ、大会に向けた実行委員会をつくり、学習・運動を広げる。

5、特に、青年や現役世代の参加を重視し、運動の世代継承の場として成功させる。